

1. 「防災週間」は 8 月 30 日から 9 月 5 日までなのですが、いわき市ではどのような取組を行っているのですか？

8 月 28 日、先週土曜日になりますが、「平成 22 年度福島県いわき地方総合防災訓練」を開催しております。

好間町上好間団地多目的交流広場及びその周辺を会場に、内郷・好間・三和地区の自治会や消防団など 91 団体 907 人の皆様のご参加をいただきました。

当日は、地震と大雨による土砂災害などを想定し、万が一、被害が起きてしまったとき、地域の実情に詳しい住民の皆様が主体的に参加し、そして助け合いながら、救助・救出を待つまでの避難や情報の収集・伝達、初期医療や初期消火など自主防災にかんする総合的な訓練を実施したところです。

また、市公式ホームページでも「防災週間」に関する情報を掲載しております。

トップページの左側に「いざという時に」という避難する人の姿を象った枠の中に「防災」とありますから、こちらをクリックしていただき、「災害への備え」、そして、「9 月 1 日は防災の日」をクリックしていただきますと「防災週間」に関する情報をご覧になることができます。

<http://www.city.iwaki.fukushima.jp/bosai/5090/006722.html>

2. 日頃から安全を守る地域ぐるみで「できること」とはどういったことでしょうか？

先ずは、一人ひとりが「身の安全を守る」ことから始めるのがよいのではないのでしょうか。

それから、それぞれのご家庭で、また、隣近所や自治会・町内会などの様々な活動のなかで、地域にお住まいの皆様が、「顔が見える」関係や「声がとどく」関係といえますか、そういう、つながりを築く、そして、そのつながりを続けていくことが大切だと思います。

例えば、自治会や町内会などで行なわれている河川や水路の草刈りやごみ拾い、お祭りや催しものの準備の機会を活用して、「地域に潜む危険は何か」、「どうしたらお互いに難を逃れることができるか」、「いざというときに、協力し合えるか」など、話し合ってみてはいかがでしょうか。

<http://www.city.iwaki.fukushima.jp/bosai/5092/002810.html>

3. 過去、いわき市ではどのような災害の被害がありましたか？

被害記録のある主なものを発生日順に、ご紹介します。

地震では、昭和 13 年 11 月 5 日、塩屋崎の東北東 70 km の沖合を震源とするマグニチュード 7.5 の「福島県東方沖地震」。

昭和 53 年 6 月 12 日、マグニチュード 7.4 の「宮城県沖地震」。

台風では、最高 448 mm の雨量を記録した昭和 61 年 8 月の台風 10 号。

そして、最高 247 mm の雨量を記録した平成元年 8 月の台風 13 号。

最近では、平成 20 年 5 月 8 日午前 1 時 45 分頃、茨城県沖を震源とするマグニチュード 6.7 の地震、平成 20 年 7 月 24 日午前 0 時 26 分頃、岩手県沿岸北部を震源とするマグニチュード 6.8 の地震。さらに、平成 22 年 4 月 27 日降り始めから、小名浜地区で 191 mm の総雨量を記録した大雨による被害などがあります。

http://www.city.iwaki.fukushima.jp/dbps_data/_material/_localhost/01_gyosei/0140/fm_bousaiweek.pdf

4. 準備しておくべき防災グッズについて教えてください？

例えば、停電に備えて、懐中電灯や携帯ラジオなど情報を入手する手段、

断水に備えて、飲料水や食糧品、

また、地震による揺れに備えて、室内、特に、寝室などにある背の高い家具や電化製品を固定するもの、本や食器、ガラスなどが飛び散らないようにするもの、

さらに、低い土地にお住まいでしたら、急な浸水に備えて、土嚢や止水板などの家屋への水の浸入を防ぐもの、

いずれにしても、それぞれの住まい方や暮らし方に見合う、身の安全を確保できるようなものを考えられたら、よろしいのではないのでしょうか。

なお、どうしても避難しなければならなくなった場合に備えて、持病の方であれば、薬や処方箋、重要な書類、身分を証明できるものなど常に持ち出せる、持ち歩ける癖をつけることなども考えられます。

5. 最後にラジオを聴いている皆様一言お願いします。

「自分の身の安全は自分で守る。」

このことに尽きるわけですが、なかなか、難しいものだと思います。

私は、こんな風に考えます。

消防や自衛隊、海上保安官など危険な場所へ、救助・救出に向かう方たちの現場への出動機会がなくなる、仮に出動要請があったとしても、同時に多くの場所に発生しないことが理想ではないのでしょうか？

そのためには、日ごろ、「危険」な状況を想像する、「危険」な箇所がどこにあるかを調べておく、もし、「危険」が迫っていると感じたら、その「危険」から離れる、回避することが重要だと思います。

<http://www.city.iwaki.fukushima.jp/bosai/5092/006760.html>

私、「男」なのですが、エレベーターに乗ると必ず、ご一緒した皆さんが降りられたことを確認してから、最後に、降りるように心がけています。

たまに、女性の方やお子さんから、「ありがとう」というお声をかけていただき、ちょっぴり、嬉しく思うときがあります。(笑)